

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」 備前三門校		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年11月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣の企業とのコラボイベントにより、地域資源としての役割を意識して運営できていること。	日々の療育とは違う雰囲気でのイベントを実施することで、きらりはより楽しいところと思ってもらえるような時間を意図的に作るようにしている。	今までコラボしていなかった企業とも交流をしていき、子どもたちの豊富な経験の一助になれるようにする。
2	居宅訪問や関係機関連携を充実させており、保護者とのつながりを密に取ることができること。	保護者からの要望があれば、幼稚園や保育園、小学校への訪問を定期的に連携させていただいている。多面的に子どもたちの実態をとらえられるように意識している。	保護者の中には、こういった制度がある事をまだ知らない方もおられるので、周知活動を充実していく。
3	傾聴を意識した子どもたちとの関わりをしているため、子どもたちの居場所づくり貢献できているということ	職員一人一人が子どもたちを受容的にとらえられるように、普段から子供たちができるようになったことや成長していることを話題にしている。	自分たちだけの視点ではなく、他校舎や専門家からの助言をいただき、より広い視野で子どもたちをとらえられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎がせまいこと	パーティションなどを少なくして、圧迫感を軽減する必要がある。もう少し広いところへの移転も視野に入れる必要がある。	狭い環境の中で、できることを工夫して取り組んでいる。ダイナミックな活動がしたい時は、近隣の公園まで足を運んでいる。
2	いわゆるリハビリ職（PT・OT・ST）がないことで、動作や訓練的な視点が弱くなること	事業所単体ではどうしようもないので、きらりのグループとして相互に連携して課題解決に向かっている。	他校舎のリハビリ職に意見を求めることで解決している。また、経歴が長い職員もいるので、豊富な知識で補っている。
3	事業所間の連携が少ない	事業所間での連携をしてきた文化が少ないので、まずはきっかけづくりをするところから始まる。	担当者会議などを定期的に関催し、きらりが得ている保護者のニーズや学校などの連携先の情報を他事業所とも共有する機会を今後は増やしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年1月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」備前三門校

利用児童数

8

回収数： 7

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	1	0		教室の構造上少し手狭な部分はあると思いますが、みんなで協力し、支援を行っています。時には場所を借りることもコミュニケーションの1つに繋がっています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	1		配置については現在も検討中です。ご協力よろしくお願いします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報	6	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると	6	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	7	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いま	5	2	0	0		保護者の方とのお話、日々の支援の様子を踏まえて個別支援計画の作成に当たっていますが、もし不備や再計画が必要な場合には、対応いたしますので、いつでも教えてください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います	6	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	1		交流を望まない方や個別での支援を希望されている方にはご案内できていない部分もありますが、公園遊びやイベントの部分で外部の方とも関わる機会を設けています。
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行わ	2	3	0	2		事業所内相談や関係機関連携などで実施している内容にはなりますが、まだその制度について詳しくお話できていないご家庭もあるかと思えます。今後お話をさせていただきます。よろしくお願いします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	0	0		日々のフィードバックを中心に行わせていただいている内容になります。面談が必要な場合には、こちらからもお声がけさせていただくことがありますのでよろしくお願いいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0		

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会	4	2	1	0		事業所イベント等での交流の機会はありませんが、実際に保護者・きょうだい向けのイベントは開催できておりません。大きな会ではなくてもいいが、少し地域の方と知り合いたいと言う声もありますので、ご紹介させていただくことは可能です。お気軽にお声がけください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、	5	1	0	1		お電話や対面での対応を実施しておりますが、不手際があった際には教えていただけると幸いです。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されています	3	1	0	3		契約時にお伝えさせていただいたLINE・Instagram・ブログ等で発信をしています。ぜひ見てみてくださいね。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、	3	0	0	4		契約時にお話させていただいている内容や事業所入口に設置させていただいている内容になります。気になる際には口頭で説明することも可能なので教えてください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	5		避難訓練は夏休みの期間や日々の支援で実施している所です。今年度は児童さんでの実施がなかったように思います。今後実施させていただく際にはよろしくお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に	4	1	0	2		契約時にお話させていただいた部分と日々の感染症対策、救急箱の設置等行わせていただいております。日々安全確保に努めておりますが気になることがあれば教えてください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	3		皆さん安全に通っていただくことが出来たので、怪我等がなかったように思います。もし怪我等があった際には速やかに連絡をいたしますので安心してください。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1	1	0	いつもお世話になっています。喜んで通っており、事業所での様子も丁寧に教えてくださり安心して通わせていただいています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	いつもご協力ありがとうございます。利用者様のご協力あってのことです。今後ともよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」備前三門校

公表日 2026 年 1 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	混み合っていることもありますが場所を譲り合い、行っています。 静かな環境で支援を受けたい子は職員室内だと扉を閉めて受けられるので良いと思った。	場所を譲り合い使用できています。これもコミュニケーションの1つになっています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基本的には適切だが、職員の数が必要と感ずる時もある。足りないこともあるが、適宜調整させていただいている。職員の業務量を考えるともう少し人員を増やしたい。職員が立って続けられればの補充が追いついておらず、既存の職員への負担が増えてきていると感ずる。早期に解決していただきたい。	今後も継続して配置については検討を行っていく予定です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	パーテーションが曲がっているものがあり、不安に思うことがある。 パーテーションで個別に仕切られたスペースで支援が受けられているので良いと思う。	パーテーションの使い方、購入等は検討させていただきま。飛び出しがある際には危険なのでパーテーションの撤去をさせてもらうこともあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	共有スペースがもう少し広げればと思う。 少し狭いとは思いますが最大限に調整させていただいている。 <u>消毒換気などこまめに行っている。</u>	共有スペースに関しては譲り合いながらの使用をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	それぞれ個別スペースを基本利用できている。	個別のスペースで安心して勉強をしていただけています。
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	もう少し校舎ミーティングの回数が増えたと良いと感じる。	業務負担も踏まえての回数ではありますが、必要な際には回数を増加させていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	適宜お話を聞かせていただいています。 QRコードからの回答ができるようになり、保護者も答えやすい人が増えたと思う。	評価表の掲示を行っています。また、ご意見のお電話内容は全職員で共有し、改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	もう少し回数が増えた方が良いと感じる。	1 On 1 を実施し、必要であればその機会とは別に話をする機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	いただいた意見を参考に業務改善につなげていると思う	いただいた意見を参考に業務改善につなげさせていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	w担当になっている児童についてはチームでプログラムを立てられていると思う。	W担当の児はもちろん、個別で担当している児に関しても支援内容については相談を行っています。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	支援内容が固定化されないために職員間で相談や情報共有を行い、新しい取り組みなどを常に取り入れる様に努力している。 毎回保護者の意見も取り入れながらプログラムを組んでいる。	保護者様の意見ももちろんですが、子どもたちそれぞれの成長を鑑みて行わせていただいています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	計画的に集団を行うようにしている。 必要だと感じた利用者には行っている。	集団の利用には希望もあるので、調整しながら行わせていただいています。また、性格・特性等に配慮して行わせてもらっていることもあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	日々の業務をこなすのについて打合せ時間をなかなか取れないのが現状。 空き時間などで適宜話している。	業務上毎回は難しいですが、適宜連携を取り合いながら行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	打ち合わせと言うほどではないが、共有しているで“はい”を選んでいきます。 必要と思われるときにはその機会を持っています。	終了後すぐに行うことは難しいですが、次回支援日までに指導員同士話し合い、次のプログラムや支援内容を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ちょっとした変化や成長を敏感に感じる様に心がけている。 記録記入が追いついていないことがある。	子どもたちの成長は私たちのやる気にも繋がるので、記録を書きながらいつも嬉しく思っています。記録を打つ時間を確保できるよう会議等の簡略化などを実施しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	関係機関には積極的に実施している。	関係機関連携などでお世話になる機会も多いです。今後ともよろしくお願いいたします。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	別事業所の案内などの相談にはいつも乗らせていただいています。また、転園の作業の際にもアイデアを共有していただいています。 関係機関連携や担当者会議などを利用して行っている。	相談支援員さんとも相談しながら連携をとっていています。今後ともよろしくお願いいたします。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	公園等に行かせていただき、地域の方と関わらせていただいています。あそび博、クレープイベントなどでは外部の方も呼んで一緒に活動できている。	地域の方とも積極的に関わる機会を持たせていただきたいと思っていますが、それが適当ではない場合もありますので、様子を見ながらさせていただきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回のフィードバックや事業所内相談を利用して行っている。	今後も継続して行っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	事業所内相談や家庭連携などを利用して行っている。	必要な際には様々なサービスを利用することができます。今後とも必要な方が必要なサービスを受けられるよう努めています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやラインで発信させてもらっています。 ブログやLINEを活用している。	今後も発信を行っていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	事業所が狭いため、外部から参加できるイベントを開催するのが難しいと感じる。クレープイベント等を行っています。招待していないので不明。あそび場やクレープイベントなど地域に開かれた事業が行えている。	外部から参加できる人数は限られてしましますが、基本的にはいつでも見学・体験OKと思っています。よろしくお願いいたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	適宜お話を把握しているが、該当の方は現在在籍なし。	契約時にお話を聞かせていただいた通りや、直近の受診の状況を聞かせていただき、対応させていただいています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食事提供なし。	今回は該当者がいないため、特に対応はないですが該当者がいる場合には職員の昼食等にも気を付けてもらっています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				